

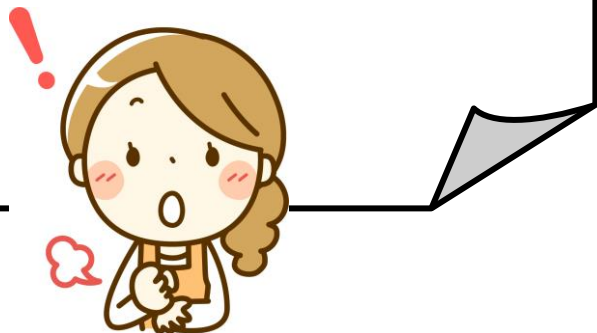
「目からウロコ」 —先週の講壇より—

「するとたちどころに、サウロの目から、うろこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。」使徒9：18

いつの間にか聖書の言葉が日本人の日常生活に入っている、ということがあります。例えば「豚に真珠」「砂上の楼閣」「目には目、歯には歯」、そして今日の聖句である「目からウロコ」もその一つでしょう。

新しい発見といいますか、真実に目が開かれた時に日本人は「目からウロコ」と使いますが、それはパウロ（サウロ）の経験からきた言葉です。サウロとはイスラエルの一代目の王サウルからとられた名前。そして回心後に改名したパウロは「小さき者」という意味。偉大なる王の名から、主の前に謙遜な生き方に180度変わっていたパウロ。かつてその目にあった分厚いウロコは取り去られ、真実なる主のお姿だけを見据えて生きた生涯でした。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年6月25日

おめでとう
Orange郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ16：18, 19

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

